

一巻の笑風

五と有り 何をごとくとしていさの

軍の出入りに 入れていさの

軍下河か つんでいさの

とやや 目水さめかか

つけつけ有し のラジオ お笑風に 矢を

と と言つていさの 水 さこえて来た

これ風の音だ

今にも屋根木 とはされそり音

月本さめ

時計を見る

夜中の十一時 力尽す

舟と見にく 舟の 木

風でト音が 心なれと子にさ 手あそい

ラジオの ニースをさく

東京 カナ川 サイ玉 フエい同ト 氣を

ついでと ニース

九州 だちで 有り こころあそい

腹木の建物 に入つて下さい

そよとこにあそい

あつても外に出るおろい

おたつたあまのうろい

ここが「一番安全」と思つてい

何と風少し静かたつた

笑風 行つてくれぬの

よかつた

夜中の一瞬 どの風の二階内

あまごとなつた

不安定な空もさうは明か

とエース

よかつた 何回もいいたく

このむといぬ どこへ行つた

陸も海も困る

消えてほしい

2023
7/4